

たこやき

むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。

あるとき、おじいさんが、おばあさんに、

「たこやきを食たべたいから、買かってきて」とたのみました。

おばあさんは、たこやきを買かってきて、おじいさんにわたしました。おじいさんが食べようと思おもってふたをとると、たこやきがひとつ足りません。おじいさんは怒おこって、おばあさんに、

「おまえ、なんでさきに食たべたんだ」といいました。おばあさんは、

「わたし知りませんよ。よく見てくださいよ」といいました。おじいさんがよく見てみたら、たこやきがひとつ、ふたにくっついていました。

それから何年もたつてからのことです。おじいさんは年をとって死しんでしまいました。

そのお葬そうしき式しきの日ひ。

「これがさいごのおわかれです」と、棺かんのけ桶けのふたをとりました。すると、おじいさんがいません。よく見てみたら、おじいさん、棺桶かんのけのふたにくっついていましたとさ。

おしまい

\* 棺桶かんのけ なくなつた人を寝ねかせるはこ